



低CO₂川崎ブランドとは

目的

- ライフサイクル全体（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）でCO₂削減に貢献する川崎発の製品・技術等を評価し、広く発信することを通して地球温暖化対策を図ります。
- ライフサイクル全体でのCO₂削減効果の考え方を普及させることにより、川崎市全体の環境意識・スキルの向上を図ります。
- 地球規模で温室効果ガスの排出削減に貢献している事業者が、市場で適切に評価される仕組みづくりを推進します。

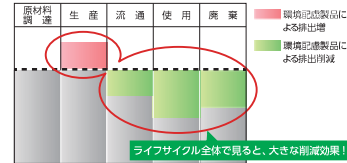
特徴

ライフサイクル全体を通じた温暖化対策への貢献を評価



- 自社の製品等のCO₂削減量を自主算定
 - ※相談会等を開催し、削減量の算定方法や申請書等の記入方法に関する説明及び個別の支援を行います。

低CO₂川崎ブランドの考え方



- 製品・技術、サービスを対象
 - 最終製品、素材、部品、研究開発活動、プロセス技術
 - 組織の規模を問わず、大企業、中小企業、団体も対象
 - 各種サービスも対象

部門

製品・技術部門

川崎市内で製造または研究開発（確立）され、ライフサイクル全体でCO₂排出削減に貢献している製品・技術

サービス部門

川崎市内で提供または企画（確立）され、ライフサイクル全体でCO₂排出削減に貢献しているサービス

認定基準

応募製品・技術等が以下の基準を満たすことを、「算定ガイドブック」等に基づき審査します。

- ライフサイクルでの環境効率の向上
 - 独自性・先進性
 - 市民、社会全体の取組の推進
 - 国際的な貢献
- ※①の基準を満たすことを必須とし、②～④の基準については少なくとも1項目以上に該当する必要があります。

〈大賞について〉
認定基準のほか、「川崎の特徴・強みを活かした低炭素社会の構築への貢献度」を総合的に評価して特に優れたものを大賞として選定します。

低CO₂川崎ブランドに認定されると...

- 川崎国際環境技術展での認定結果発表会（認定証及び楯の授与）・ブース展示
- エコプロなどに出席し、全国に向けて情報発信
- 認定製品・技術等のPRやCSRへの取組への活用
- ホームページやパンフレットなどでの広報
- かわさき低CO₂ビジネス交流会でのプレゼンテーション
- 低CO₂川崎ブランドロゴマークの使用
- 製品展示用楯の利用
- 「市内事業者エコ化支援事業」での優遇

- 事業活動地球温暖化対策計画書・報告書への反映
 - ※事業者が提出する計画書・報告書の中にブランド認定結果を記載できます。



川崎メカニズム認証制度とは

目的

- ライフサイクル全体（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）でCO₂削減に貢献する川崎発の製品・技術等を評価し、広く発信することを通して地球温暖化対策を図ります。
- ライフサイクル全体でのCO₂削減効果の考え方を普及させることにより、川崎市全体の環境意識・スキルの向上を図ります。
- 地球規模で温室効果ガスの排出削減に貢献している事業者が、市場で適切に評価される仕組みづくりを推進します。
- 川崎発の製品・技術等が川崎市域外で温室効果ガスの削減に貢献する量を、「域外貢献量」として定量的に評価します。

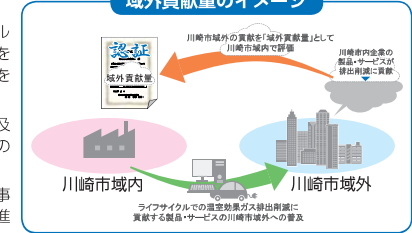
認証基準

域外貢献量を認証するにあたり、次の事項の妥当性等を「域外貢献量算定ガイドライン」等に基づき審査します。

域外貢献量算定にあたっての基本的な条件

- ライフサイクル全体での削減効果
- 川崎市域外での温室効果ガスの削減貢献
- 独自性・先進性等

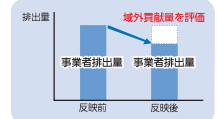
域外貢献量のイメージ



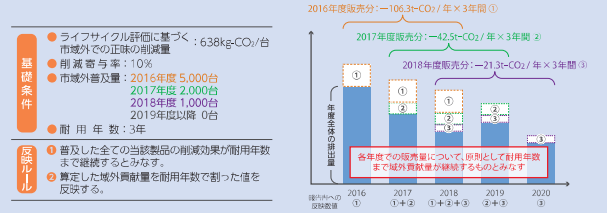
なお、申請時に「同時認定申請書」を追加することで低CO₂川崎ブランド認定の同時取得が可能になります。

メカニズムの認証を受けると...

- 認証製品・技術等のPRやCSRへの取組への活用
 - ※域外貢献量認証過程で算定することが可能な1製品あたりの削減量「ライフサイクルCO₂削減量」をPRに活用ください。
- エコプロなどに出席し、全国に向けて情報発信
- ホームページやパンフレットなどでの広報
- かわさき低CO₂ビジネス交流会への参加
- 川崎メカニズムロゴマークの使用
- 低CO₂川崎ブランド応募に係る申請書の一部省略
- 事業活動地球温暖化対策計画書・報告書への反映
 - ※域外貢献量を調整後排出量へ反映することができます。



事業活動地球温暖化対策計画書・報告書への反映のイメージ



ライフサイクル評価 (LCA) の重要性

ライフサイクル評価 (LCA) とは？

製品等のライフサイクル (原材料の調達から生産、流通、使用、廃棄) における投入資源、環境負荷及びそれらによる地球や生態系への環境影響を定量的に評価する方法です。



ライフサイクル評価を企業の強みに！

地球温暖化は、その予想される影響の大きさなどから、重要な環境問題になっており、平均気温の上昇や異常気象の発生など、様々な気候変動をもたらしています。こうした中で、企業は自社内だけでなく、製品等のサプライチェーン及びライフサイクルを通じた温室効果ガスの排出量の把握に努めるとともに、これらの環境負荷の低減に寄与する製品等を提供することが求められています。

欧州では、ライフサイクル環境性能の測定または伝達に関連するパイロット事業が実施されるなど、ライフサイクルでの環境負荷への関心が急速に高くなっています。このように、ライフサイクルに視点を置いた環境負荷低減の取組は今後一層重要になることが予想されます。

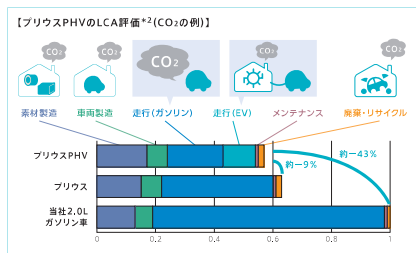
これらの動きに備え、いち早くライフサイクル評価の考えを取り込んで研究・開発を行い、また、製品等の環境データとして、消費者等に情報を提供することが、企業がグローバルな発展を続けるために必要になってきています。

産業界の取組例 (トヨタ自動車株式会社)

全ライフサイクルでのCO₂排出量が少ない、次世代エコカー。

プリウスPHVは、素材製造、車両製造、走行、メンテナンス、廃棄・リサイクルの各段階で排出するCO₂を、当社2.0Lガソリン車に比べて約43%低減。プリウスと比較しても、ライフサイクルでのCO₂排出量はプリウスPHVが約9%下回っています。また、太陽光、風力など再生可能エネルギーを活用して発電した電力を利用する場合は、EV走行部分のCO₂をさらに低減可能です。

*2. トヨタの取組期間において、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価手法 (LCA: ライフサイクルアセスメント) (Life Cycle Assessment) で評価しました。自動車を生産する距離 10万 km (10.9) を100%モードで走行した場合の結果です。LCA 評価結果は指数で示しています。



出典) トヨタ自動車株式会社ホームページ

ライフサイクル評価 (LCA) の具体的な活用方法



LCAの結果を製品パンフレットに掲載



LCAの実施による環境への取組を企業イメージ向上に活用



外部機関によるLCA認証をCSR報告書に掲載



CDP® 質問書への報告

* CDPは、投資家向けに企業の環境情報の提供を行うことを目的とした国際的な非営利団体。気候変動等に関する事業リスクについて、企業がどのように対応しているか、質問書形式で調査し、評価したうえで公表しています。

認定製品などの普及に向けた活動実績

ポスターの駅掲出

川崎市内の主要駅

(JR線川崎駅、JR線武蔵小杉駅、JR線武蔵溝ノ口駅、東急田園都市線鷺沼駅、JR線登戸駅、小田急線新百合ヶ丘駅)

に、認定結果のポスターを作成し、掲出しました。(2018年度)



※上記のポスター及び掲出の様子は2017年度のものです。

2015年認定製品

株式会社ユニオン産業 【UNI-PELE (ユニペレ)】

川崎市内の商業施設 (グランツリー武蔵小杉) での展示販売が実現しました。



2015年認定サービス

和光産業株式会社 【水研磨・資源循環型床ワックス管理】

メディアに取り上げられ、川崎市内に本社を置く「日本トイザラス」の店舗などで導入されました。



低CO₂川崎ブランド等推進協議会は平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受けました！



※参考 地球温暖化防止活動環境大臣表彰とは

環境省が地球温暖化対策を推進する一環として、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に對しその功績をたたえるものです。平成29年度は、①技術開発・製品化部門、②対策技術先進導入部門、③対策活動実践・普及部門、④環境教育活動部門、⑤国際貢献部門の5部門で40団体が受賞しました。平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰について <https://www.env.go.jp/press/104783.html>

【受賞部門】対策活動実践・普及部門

【活動の名称】低CO₂川崎ブランド

～低炭素社会の構築につながる、ものづくり・サービスを応援～
制度を開始した平成21年度から8年間の取組により、35社70件の製品等を「低CO₂川崎ブランド」として認定するなど、ライフサイクル全体に視野を広げた温室効果ガス排出量の削減の取組を普及させたことが評価されました。



とかしき環境副大臣から表彰状・トロフィーが授与されました。(イノホール&カンファレンスセンターにて) (写真左：とかしき環境副大臣、右：足立会長)

低CO₂川崎ブランド等推進協議会とは

川崎の優れた環境技術を活かした製品・技術等が
地球規模での温室効果ガスの削減に貢献



- 川崎市では、マルチベネフィットの地球温暖化対策等により低炭素社会の構築を目指しています。
- その取組の一つとして、市内企業の有する優れた環境技術によりCO₂削減につながる製品・技術、サービスを認定・認証する「低CO₂川崎ブランド」と「川崎メカニズム認証制度」を実施しています。
- 2016年度からは、認定・認証製品等の一層の普及促進を図るため、川崎市と産業支援団体等が連携して「低CO₂川崎ブランド等推進協議会」を発足し、両事業の運営を行っています。
- 同協議会では、CO₂が削減された川崎発の製品等が、市内だけでなく地球規模で普及等することにより、「環境」と「経済」の調和と好循環を図りながら地球温暖化対策の推進に貢献していきたいと考えており、認定・認証事業者の活動や製品等を積極的に広報するとともに、必要な支援策を検討し取組を進めています。

※低CO₂川崎ブランド等推進協議会は、川崎商工会議所、公益財団法人川崎市産業振興財団、NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター、川崎信用金庫、川崎市で構成しています。

ロゴマーク

低CO₂川崎ブランド



低CO₂川崎ブランドのロゴマークは「大気(背景の青い部分)にCO₂(分子構造)が一つ。」を表しています。
CO₂は川崎市の「川」にも見立えています。

川崎メカニズム認証制度



事業者支援の紹介

経営に関するサポートをします!

専門相談員制度

弁護士による法律問題の相談、専門家による経営革新・経営課題・金融に関する相談を実施しています。
(川崎商工会議所 中小企業振興部 044-211-4114)

中小企業の経営支援、専門家派遣

課題解決、経営革新、新事業創出・新分野進出のための窓口相談、専門家派遣(有料派遣及び無料のワンデイコンサルティング)を実施しています。(川崎市産業振興財団 中小企業サポートセンター 044-548-4141)

かわしん経営サポートメール

地域の事業者の皆様が抱える様々な経営課題解決のため、お客さまサポート部を設置し、経営サポートメールによる情報配信、地域の中小企業支援機関と連携した支援等を実施しています。
(川崎信用金庫 お客さまサポート部 044-220-2456)

環境技術の情報発信、マッチング支援

認定・認証事業者が有する環境技術の情報発信や会員企業とのマッチングを支援しています。
(産業・環境創造リエゾンセンター 044-522-5455)

事業資金の相談に乗ります!

法人・個人事業主への融資など

事業者のニーズにあった融資商品を御用意。また、経営者の悩みや経営課題に対して、かわしんのノウハウを活かしたアドバイスやサポートを実施しています。(川崎信用金庫 業務部 044-220-2206)

中小企業者等への融資

中小企業者を対象に各種資金を融資する中小企業融資制度を実施。川崎市が信用保証協会の保証料を補助しています(一部制度を除く)。(川崎市経済労働局 金融課 044-544-1846)

公的補助金等申請、資金繰り相談など

中小企業のための国・県・市の各種補助金・助成金の申請、制度融資等の申込みに係る事業計画等の作成、資金繰りについての相談を実施しています。(川崎市産業振興財団 中小企業サポートセンター 044-548-4141)

小規模事業者(従業員20人以下、商業・サービス業は5人以下)への融資

無担保・無保証人で上限2000万円の国の制度融資を実施しています。
(川崎商工会議所 中小企業振興部 044-211-4114)

※各団体の融資には条件があります。詳細はお問い合わせください。

省エネ対策を支援します!

光熱費削減のための無料診断(省エネ診断)

光熱費などの経費が高く、削減を図りたい方などに、省エネルギー診断を実施しています。診断後は改善に必要な費用や回収期間の試算を行います。
(川崎市環境局地球環境推進室 044-200-3836)

中小企業のみ対象

設備導入費用の補助(エコ化支援事業)

再生可能エネルギー源利用設備や省エネルギー型設備の導入をする方に、導入費用の一部を補助します。補助の要件、対象事業者等についてはお問い合わせください。なお、申請額が予算額に達した時点で終了します。
(川崎市環境局地球環境推進室 044-200-3873)

中小企業等が対象

各団体の支援内容の詳細や業務内容はこちらを御覧ください。

●公益財団法人 川崎市産業振興財団

産業振興財団サポートセンター

検索



●川崎商工会議所

川崎商工会議所

検索



●川崎信用金庫

かわしん経営サポート

検索



●NPO法人 産業・環境創造リエゾンセンター

川崎 リエゾンセンター

検索

